

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	23	学校名	法隆寺国際高等学校
----	----	-----	-----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 令和5年度 第11回 ユネスコフォーラム (2) 学校設定科目「民俗学」を通しての地域理解
教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい	(1) 歴史文化科3年生が、課題研究や専門科目の学習に取り組んだ成果を広く地域住民や連携大学、協力諸機関に見ていただく機会とする。 (2) 本校歴史文化科の学校設定科目である「民俗学」の校外見学授業として実施する。安堵町の寺社や民家を見学し、その歴史や生活文化を学ぶことで郷土の伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養う。
連携・協働相手	(1) 斑鳩町教育委員会・地域住民 (2) 安堵町教育委員会・地域住民
地域と共有している 目標・課題等	(1) 斑鳩町民憲章に賛同し、これに協働する形で町民の方にも参加していただける文化的行事を行う。 (2) 安堵町民憲章に賛同し、先人の築いた生活文化に誇りをもつ態度を養う。
取組・活動の内容（生徒の主体性、 具体的活動、連携・協働内容など）	(1) 自分たちで設定したテーマに基づき、地域を調査研究し、考察した内容について発表し、評価し合った。生徒は、斑鳩町内・県内の関係者の協力を得て調査活動を行い、郷土の歴史と文化に関する理解を深め、その大切さについての自覚を深めた。 (2) 地域の歴史専門家の案内で安堵町内の寺社や民家を見学して、その歴史や生活文化について学び、町の伝統産業や年中行事などについても理解を深めた。

2. 事業の成果と課題

(1) ユネスコスクールとしてESDを実践することができた。また、このことを生徒たちも十分評価している結果となった。今後、地域との連携を更に深める工夫が必要である。
(2) 「民俗学」の授業で安堵町の歴史や地域の特色について学び、講師案内のもと、安堵町北部のフィールドワークを行った。天理軽便鉄道橋梁跡、西安堵環濠集落跡、飽波神社等を見学し、地域の歴史について、理解を深めることができた。

